

小川・横浜市大学長が中田市長訪問

「先頭に立ち改革推進」

横浜市大の小川恵一学長は七日、中田宏市長の「改革宣言」に先立ち市長室を訪問し、「あり方懇談会の答申を受け止め、独立行政法人化を念頭に改革を進めたい」などと大学自らが十月末に向けて改革中期プランなどをまとめていく考えを示した。

＝本記一面に

小川学長は「学内からの

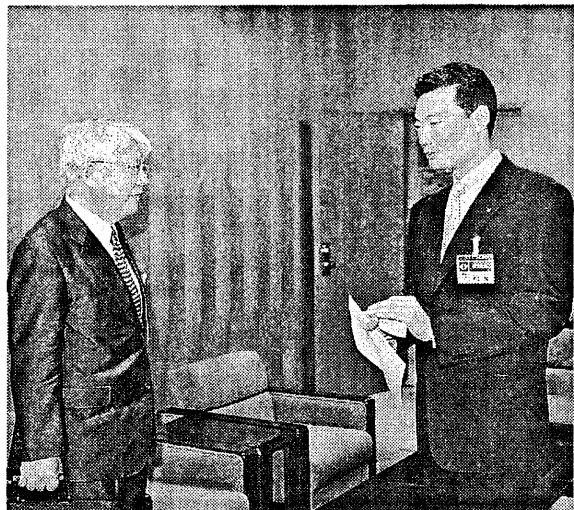
改革案や中期目標など素材は出そろっている。現在はパラレル（平行）の状態だが、基本的な考えを精査して組織として一本化する。私はその先頭に立つ」などと市大改革への決意を表明。中田市長は「『なぜ廃校にするのか』などと単純化した反論、批判が私にたくさん寄せられるが、大学

が基本だ」などと応じ、小川学長は市大が今後、力を注ぐ分野として語学教育やIT（情報技術）、教養教育などを列挙。その上で「独立行政法人化は大学運営の自由度が増すと思うので、いかに制度を生かせるか知恵を絞りたい」などと話した。さらに学内に改革に対する根強い反対論者

がいることを踏まえ、「サイレントマジョリティー（声なき多数派）をまとめて市大を再生させたい」と訴えた。

中田市長は「大学の意思表示の後には私も一緒に市民への説明責任を負うことになる。市民に合格点をもらえる答案を期待したい」などと話していた。

（牧野 昌智）



横浜市立大学の改革について懇談した小川学長（左）と中田市長
＝市長室（立石 祐志写す）